



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 立石 誠 幹事 平出吉範 会報委員長 宮下金俊 第2798回例会 2017.10.15 No.1461



ロータリー：
変化をもたらす

2017-18年度 RI テーマ

ROTARY :
MAKING A
DIFFERENCE

2017-2018年度 地区大会 於：ホテル国際21

10月14日(土)15日(日)国際ロータリー第2600地区2017-2018年度地区大会が長野RC関邦則ガバナーの指揮の下長野東 RC がホストを務めて、ホテル国際21において開催されました。

15日早朝伊那中央 RC と共に大型バスで長野市に向かいました。伊那 RC は16名が参加しました。

ガバナー挨拶 関 邦則ガバナー

日本におけるロータリーは厳しい一面を抱えています。しかし、意識や活動に内在するエネルギーは、これまでと変わるものではありません。今のロータリーには、公共イメージの認知向上につながる独自性と強さが求められています。地区テーマとして掲げた「アップデート」とは、そのために自分自身を進化させていくことを意味しています。私たちは、ロータリアンとしての自分自身を、そしてさらに自分たちのクラブを精一杯「アップデート」していこうではありませんか。大会テーマである『今こそ、未来を！』は、この地区大会が「アップデート」に向けた一つのステップであることを示しています。



来賓祝辞

長野県知事阿部守一様、長野市長 加藤久雄様

RI 会長メッセージ伝達・RI 現状報告

RI 会長代理 飯村慎一様 (宇都宮 90RC)

(パワーポイントで会長メッセージを説明され、次の趣旨のご挨拶をいただきました。)

RI テーマは“ロータリー：変化をもたらす”です。ロータリーは



地域のニーズに応えながら、成長、発展し、現在の素晴らしいロータリーが築きあげました。その原動力の一つにクラブの行動力がありました。これからも同じで、各クラブがこの激動の社会の変化にどのように対応していくか、自分のクラブの歴史や特徴を把握しながら、実情を理解し、いかに行動するかが問われています。関邦則ガバナーの“Update My Club”は正に時宜を得たテーマです。自分のクラブを良く吟味した上で、地域ニーズを把握しながら、クラブに見合ったロータリーの奉仕を実践し、地域社会へ変化をもたらしていくことが重要です。RI テーマを受けて、その内容を地区の指針へと反映させた関ガバナーの方針は素晴らしいものがあり、各クラブの皆様にはこの方針に則り、行動力を発揮していただくことを大いに期待しております。

大会決議 委員長 望月宗敬パストガバナー

1. 国際ロータリーのテーマを推進する件
2. RI 会長代理飯森慎一ご夫妻に対する感謝の件
3. 直前ガバナー原拓男氏に対する感謝の件
4. 2018年国際大会への参加を推進する件
5. 2018-19年度 RI 理事指名委員会委員並びに補欠委員を選出する件

代表委員に横田盛廣パストガバナー、補欠委員に綿貫隆夫パストガバナー

6. 本大会の記念事業に対する件 (1. 長野県への寄付 2. 長野市への寄付 3. ロータリー財団への寄付 4. 米山記念奨学会への寄付)
7. 本大会のホストクラブに対する感謝の件
8. 次期地区大会開催に関する件

各種表彰 伊那ロータリークラブの表彰 RI 会長賞

ロータリー財団年間寄付額優秀クラブ
2016-17 年度 PHF、MPHF



米山記念奨学会 米山功労達成 (6,000 万円)
2016-17 年度マルチプル米山功労者

ガバナーエレクト紹介 関 邦則ガバナー

伊藤雅基様 (駒ヶ根 RC)
職業: 伊藤電工(株) 代表取締役



次期ホストクラブ紹介

関 邦則ガバナー

ホストクラブ 伊那ロータリークラブ
開催日: 2018 年 10 月 13 日 (土)・14 日 (日)
大会会場: 長野県伊那文化会館

次期ホストクラブ紹介は初めての試みで、伊那市の紹介を DVD で行い大変好評でした。



立石会長が代表して挨拶し、大会旗を引き継いだ。



アトラクション

諏訪大社 太々神楽 諏訪神太鼓の演奏



青少年アワー

米山学友 李 奇菊さんによる、ホームカミングスピーチ。その後青少年メンバーが紹介された。

記念講演 講師 月尾嘉男氏 演題「環境危機と適応ビジネス」



環境の危機状況について、世界的なデータを示して、現状がどのようなのか説明された。

- ・地球の限界人口は 1980 年に突破しており、定員超過の状況。
- ・資源の終焉 アルミニウム 160 年、銀 14 年、石炭 200 年、石油 100 年、ガス 100 年、地下水の利用による湖の消滅危機
- ・大気温度の上昇、海面温度の上昇、海水面の上昇
- ・蚊の生息地域の拡大によるデング熱の発病、マダニの発病
- ・ブナ林の消滅やリンゴ・ミカンの適地の変化など植物異変
- ・ニホンジカやイノシシの増加
生活水準の向上→これからも必要
経済活動の拡大→これからも必要
資源消費の増大→減少させていく (例: LED の採用、企業で TV 会議の活用)
環境問題の拡大→縮小させていく
環境対応に適応したビジネスを紹介しながら、日本の企業はもうけだけでなく、継続することが大切と説明いただいた。
- ・イノシシの増加対応として、IT を利用した通報システムの確立
- ・リンゴやミカン、水稻の品種改良による環境変化後でも収量の確保
- ・繊維の中に薬を染み込ませて、防虫衣料を開発して販売拡大を目指す例
- ・SDG s の取り組み「地球環境と人々の暮らしを持続的なものとするため、すべての国連加盟国が 2030 年までに取り組む 17 分野の目標」の説明

まとめ 問題意識を持ち、先を見据えた行動により、課題を乗り越えていく活動が重要

